

2008 年「月寒川にぎわい川まつり」 サポート報告

鳥谷部 晃綱

昨年とまったく異なり、本年はとても良い天候に恵まれ夏の暑さとともに川遊びにはバッチリとなり、盛会の内に各行事が行われました。

1. 当日までの経緯

白石区役所より連絡があり、下記の日程で実行委員会に出席しました。

昨年と同様に、川の探検隊のサポートとして隊長他数名の要員、環境学習の依頼がありました。

- ・ 第1回実行委員会 平成 20 年 6 月 2 日 18:30～ 安部さん、鳥谷部出席
- ・ 第2回実行委員会 平成 20 年 7 月 4 日 18:30～ 板谷さん、安部さん、鳥谷部出席

2. 当日の状況

当日は盛夏の晴天となり、各行事も滞りなく行われました。

- ・ 開催日時 平成 20 年 7 月 26 日（土） 10：00～15：00

(1) 環境学習（自転車発電他）[担当：赤松さん、安部さん、鳥谷部]

今年は、メインに「自転車発電機とそれを用いたスチロールボール遊び・LED照明」を用意し、その他として「手回し発電機と水車発電」「振るとLEDが点灯するボール」を用意しました。

自転車発電機は、自転車のサイズを大きめにし、自転車をこぐとケースの中のボールが飛出して来るというゲームを行ってもらい、電気は簡単に作れないことを感じてもらいました。

今年は発電機に効率が良い（DC100V、2A 定格）ものを用意できたので割合威力の大きなことができました。（ある子が「ここでテレビ見るんだー」と言っていたのを聞いたのですが、今年を用意してなくて残念なことになってしまったかも知れません。）



〔環境学習班 会場〕



〔自転車発電機の全体〕



〔自転車発電機の実演〕

手回しの発電機は水車の回転の威力に負けて故障が続出して、手回しと水車で比較実験があまり上手くいきませんでした。

しかし、川まつり終了直前に自転車発電に使っていた発電機を急遽水車に移設して、LED照明の点灯をさせることを実演して来場者の方々に紹介ができました。

若干水量の調整などが必要になりますが、十分な出力は得られていました。



〔仮設発電機によるLED照明の点灯実験〕

(2) 環境体験（川の探検隊サポート）〔担当：板谷さん、鈴木さん、高橋さん〕

北海道技術コンサルタント（株）川の相談室さんが主体で実施していますが、そのサポートに探検隊の隊長として板谷さん、子供たちの案内役等で鈴木さん・高橋さんが実施しました。

午前・午後の各1回20人の子どもたちを約1時間半、月寒川を歩いて魚を採ったりしながら探検し、探検の終了後は板谷さんから川の生物についてのお話を子ども達に行いました。

今年は、川のイベント会場となっていた河床が改修され見事に真っ直ぐで魚が住み難そうな状況になってしまい、子供たちも魚を捕るのが難しい様子でしたが、みんな協力して川を網で仕切って魚を追い込んでいました。



〔川の探検隊出発〕



〔ただいま探検中〕



〔ただいま探検中〕



〔探検後の隊長の講義〕

3. その他

(1) 来年に向けて

ふるさと会の武藤技術士から、水車に取り付ける発電機の予算を提供して下さるとのお話がありました。

今回の水車での仮運転で、50～100W 程度の出力は得られそうなことが明確になりましたので、この電気を活用したインパクトのある出し物を考えて、予算を連絡したいと考えております。

出し物のアイデアがあればご連絡ください。来年に向けて実施していきたいと考えております。

(2) 余談

当日、このイベント取材に来た白石区のローカルFM局「FM 白石」で、7月30日13:30から30分ほどイベントの様子などが放送されました。

川の探検隊や「日本技術士会」が行っていた自転車発電機の話が流れたとのことでした。

以上